

少数台数のリコール届出の公表について（平成16年11月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年11月は下記のとおり6件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：TCM株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|----------------------------------|------|-------------------------|
| 11月11日 | 1298 | 車名：TCM 型式：F83等 通称名：FG40T9等 | 51 | 平成16年3月8日～ 平成16年9月9日 |
| 不具合の部位等 | リヤアクスルのセンターアームとナックルを連結するタイロッドのボールジョイント取付け用キャッスルナットの締付トルクが不足しているため、ハンドル操作を繰り返し行くと、当該キャッスルナットに緩みが発生するものがある。そのため、最悪の場合、ボールジョイントのネジ部が破損してボールジョイントが脱落し、操舵不能になるおそれがある。 | | | |

2. 届出者：新キャタピラー三菱株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|-----------------------------------|------|---------------------------|
| 11月11日 | 1300 | 車名：キャタピラー 型式：WMB等 通称名：924G等 | 76 | 平成14年7月25日～ 平成16年5月24日 |
| 不具合の部位等 | ブレーキ用油圧ポンプにおいて、制御バルブの圧力設定用スクリーンの固定方法が不適切なため、当該スクリーンを固定しているナットが弛むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキ油圧低下と伴にブレーキ制動力が低下するおそれがある。 | | | |

3. 届出者：新キャタピラー三菱株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|-----------------------------------|------|--------------------------|
| 11月11日 | 1301 | 車名：キャタピラー 型式：WMB等 通称名：924G等 | 53 | 平成15年3月24日～ 平成16年3月8日 |
| 不具合の部位等 | エンジン内部に装着されているブレーキ用油圧ポンプ駆動ギアのベアリングの加工に不適切なものがあり、当該ベアリングが短時間で摩耗することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ギアに駆動されているブレーキ用油圧ポンプが作動不良となり、ブレーキ油圧低下と伴にブレーキ制動力が低下するおそれがある。 | | | |

4. 届出者：いすゞ自動車株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|---------------------------------------|------|---------------------------|
| 11月11日 | 1303 | 車名：いすゞ 型式：KL-FVZ34S4等 通称名：フォワード | 14 | 平成15年12月4日～ 平成16年3月30日 |
| 不具合の部位等 | プロペラシャフトのセンタベアリングにおいて、当該ベアリングの取付金具に正規部品でないものを組み付けているため、当該部のラバーが早期に損傷するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、当該取付金具が破損するおそれがある。 | | | |

5 . 届出者：有限会社特車工業

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|--|---|------|---------------------------|
| 11月12日 | 1305 | 車名：三菱 型式：KL-FP50JDR改等 通称名：ふそうスーパープレート | 16 | 平成12年9月28日～ 平成16年2月13日 |
| 不具合の部位等 | ホイールベースを延長するため車枠の改造を行った車両において、フレームの溶接指示が不適切なため、内側補強板をメインフレームに取付ける際、メインフレームの端部を溶け込ませてしまい切り欠きを生じたものがある。このため、メインフレームに高応力が発生し、当該部から亀裂が生じるおそれがある。 | | | |

6 . 届出者：小松フォークリフト株式会社

| 届出月日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名等 | 対象台数 | 製作期間 |
|---------|---|----------------------------|------|---------------------------|
| 11月16日 | 1306 | 車名：小松 型式：M209等 通称名：- | 31 | 平成14年8月5日～ 平成15年12月22日 |
| 不具合の部位等 | パワーステアリング用シリンダの右側ロッドに不適切な加工を行ったため、当該ロッドの強度が不足しており、かじ取り操作を繰り返すと、当該ロッドのピン穴部に亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行して破損し、右後輪タイヤの操舵ができなくなるおそれがある。 | | | |
| 備考 | 本届出は、平成16年11月8日「届出番号1293」のリコール届出に、新たに対象車を追加するものである。 | | | |

〔参考〕

| 平成16年11月のリコール届出総件数 | | 内 訳 | |
|--------------------|-----|------------|------------|
| | | 対象台数100台以上 | 対象台数100台未満 |
| 国産車 | 18件 | 13件 | 5件 |
| 輸入車 | 7件 | 7件 | 0件 |
| 計 | 25件 | 20件 | 5件 |

対象台数の追加の届出については届出件数に含まれません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、久手
電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)